

平成 22 年度第 3 回岐阜県事業評価監視委員会

【森林整備課所管事業審議資料】

- 再評価対象箇所一覧表 . . . p 5
- 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について
 - 森林居住環境整備事業 . . . p 6
 - 森林環境保全整備事業 . . . p 7
- 平成 22 年度 再評価実施箇所 (附図)
 - 森林居住環境整備事業【恵那市 大沢線】 . . . p 8
 - 森林環境保全整備事業【飛騨市 灘見谷線】 . . . p 9
- パワーポイント
 - 森林居住環境整備事業【恵那市 大沢線】 . . . p 10 ~
 - 森林環境保全整備事業【飛騨市 灘見谷線】 . . . p 16 ~

平成22年度 再評価対象箇所一覧表 7月30日審議箇所

[林政部 森林整備課]

作成資料 I

番号	事業名	路線・河川名	市町村名	採択年度	完了予定年度	事業概要		全体事業費 (百万円)	実施済み額 (百万円)		進捗率 (%)		経過年数 (H22.3現在)	地元意向	関連事業の進捗状況	社会経済情勢等の変化	環境との調和への配慮事項	事業費縮減	費用対効果分析	対応方針(案)	特記事項
						全体事業量	実施済事業量		事業実施率	用地補償費	工事費等	用地補償費									
1	森林居住環境整備事業	大沢線	恵那市	H7	H27	L=3,420m	L=2,404m	70.3%	1,034	651	63.0	15	事業継続 早期完成 を強く希望	無し	木材価格 の下落・ 山林所有 者の高齢 化	間伐材・リサ イクル認定 品の活用な ど	し型構築工・ 補強土壁 工・市道車 道の採用な ど	(1.6) 1.2	継続	開設済み 区間は供 用開始	
2	森林環境保 全整備事業	瀬見谷線	飛騨市	H12	H24	L=2,170m	L=1,308m	60.3%	460	310	67.3	10	事業の継 続・早期完 成を強く望 む	森林整備 着手、作 業路今年 度実施	低質材を 含む需要 の拡大に よる低コス ト化圧力 発生	間伐材・リサ イクル認定 品の活用な ど	既設道改 築・二次製 品利用、募 集工事間流 用	(1.2) 1.1	継続	開設済み 区間は供 用開始	

平成22年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 森林整備課

○事業制度について	事業名	森林居住環境整備事業	
	事業目的	山村と都市の共生・対流を図り、快適な居住環境を広く創出することとし、居住地周辺の森林、山村地域の定住基盤、森林整備の基礎となり生活環境の改善にも資する骨格的な林道等の整備を総合的に実施する。	
	採択基準	基幹道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が1000ha以上、かつ全体計画延長が7km以上。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等 管理道・・・地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が50ha以上、かつ全体計画延長が1km以上（過疎、特定・準特定市町村等は30ha以上かつ0.8km以上）。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等	
	概要 (メニュー)	・森林基幹道開設 ・森林管理道開設	
○費用対効果の分析について *費用便益 B/C*	効果の項目	うち貨幣換算する項目 ≧B ≦	<ul style="list-style-type: none"> ・水源かん養便益 ・山地保全便益 ・環境保全便益 ・木材生産等便益 ・森林整備経費縮減等便益 ・一般交通便益 ・森林の総合利用便益 ・災害等軽減便益 ・維持管理費縮減便益 ・山村環境整備便益 ・その他の便益
		その他項目	
	費用 ≧C ≦ の算定	<ul style="list-style-type: none"> ・費用の積み上げ基準：事業費（建設費）＋維持管理費 ・単価の基準：事業開始年度 ・現在価値化に用いる割引率4%（B及びC共通） ・評価対象期間は事業完了後40年間 	
費用便益比の基準	B/C = 1.0以上		

平成22年度 再評価対象地区に係る事業制度・費用対効果の分析について

課名 森林整備課

○事業制度について	事業名	森林環境保全整備事業
	事業目的	森林の持つ機能に応じた森林整備を計画的に推進することにより、森林の有する多面的機能の維持・増進を図り、森林環境の保全に資することを目的とし、このための森林整備に直結する林道を整備する。
	採択基準	地域森林計画に記載された林道。利用区域面積が50ha以上、かつ全体計画延長が1km以上（過疎地域等は30ha以上かつ0.8km以上）。着工後10年以内に利用区域面積の10%（延べ面積）以上の森林整備が見込まれること。等
	概要 (メニュー)	・森林管理道開設 ・森林施業道開設
○費用対効果の分析について *費用便益B/C*	効果の項目	<ul style="list-style-type: none"> う ち 貨 幣 換 算 す る 項 目 ≧ B ≦ <ul style="list-style-type: none"> ・水源かん養便益 ・山地保全便益 ・環境保全便益 ・木材生産等便益 ・森林整備経費縮減等便益 ・一般交通便益 ・森林の総合利用便益 ・災害等軽減便益 ・維持管理費縮減便益 ・山村環境整備便益 ・その他の便益
	その他項目	
	費用便益B/Cの算定	<ul style="list-style-type: none"> ・費用の積み上げ基準：事業費（建設費）＋維持管理費 ・単価の基準：事業開始年度 ・現在価値化に用いる割引率4%（B及びC共通） ・評価対象期間は事業完了後40年間
費用便益比の基準	B/C = 1.0以上	

平成22年度 再評価実施箇所 (附図)

担当課〔森林整備課〕

番号	事業名 森林居住環境整備事業 林道大沢線 (路線・河川名等)		
事業実施箇所	恵那市飯地町	事業主体	恵那市
採択年度	平成7年	完了予定年度	平成27年
再評価の実施基準	事業採択後長時間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>この開設により、森林の水源涵養機能や山地災害防止機能を高度発揮するため、森林施業の推進、林業生産性向上を目的とする。また、県道が被災した場合の迂回路及び飯地町から八百津町への連絡道としての機能も期待される。</p>		
事業概要	<p>林道開設 事業延長 L=3,420m 幅員 L=4.0m</p>		
概要図	間伐作業状況	間伐実施森林	

平成22年度 再評価実施箇所（附図）

番 号		事 業 名 (路線・河川名等)	森林環境保全整備事業 林道 灘見谷線
事業実施箇所	飛騨市神岡町数河 飛騨市神岡町石神	事業主体	飛騨市
採択年度	平成12年度	完了予定年度	平成24年度
再評価の実施基準	事業採択後長時間が経過した時点で継続中の事業		
事業目的	<p>利用区域内の森林施業の適正な実施や生産性の向上、さらには簡易水道水源施設管理の効率化や山村地域の定住促進・環境改善を図るため、国道471号と市道石神線を連結する林道を開設する。</p>		
事業概要	<p>林道開設 事業延長 L=2,170m 幅員 W=4.0m</p>		
概要図			

森林居住環境整備事業 大沢線の再評価



利用区域内の森林現況

□ 利用区域面積 122ha



- 人工林(72%)
- 天然林(28%)

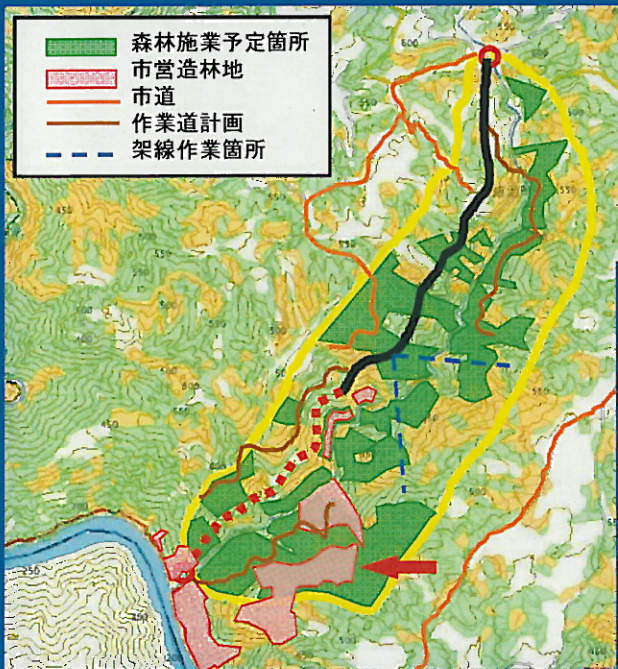
人工林の内訳
 ・主伐対象林分 67ha
 ・間伐対象林分 21ha



林道沿線の森林状況



森林施業の計画



地元観光協会の平瀬滝周辺整備活動

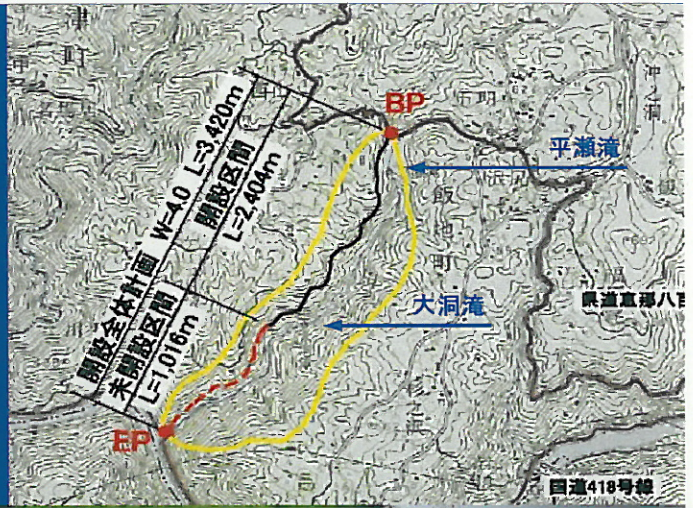


災害時の迂回路確保



森林居住環境整備事業 大沢線

- ・事業期間 H7年度～H27年度
- ・事業費 1,034百万円
- ・全体延長 L=3,420m
- ・実施済み L=2,404m(651,100千円) ———
- ・残計画 L=1,016m(382,900千円) ·····
- ・進捗率(延長ベース) 70.3%
- ・進捗率(事業費ベース) 63.0%



H21年度施工№205～№209(終点)付近



費用対効果分析

○事業の効果

・木材生産便益	効果全体の	21%
・森林整備経費縮減等便益	効果全体の	43%
・その他便益	効果全体の	36%

○投資効果率

$$\frac{\text{効果額}}{\text{事業費}} = 1.2$$

コスト縮減・環境配慮の取組状況

- L型擁壁の活用(コンクリート二次製品)
- 補強土壁工の採用(発生残土の現場内処理)
- 再生砕石の利用
- 市場単価の採用

L型擁壁

木柵工

補強土壁工

木伏工

関係者の意向

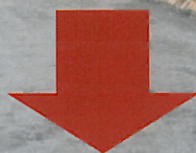
- ・適切な森林整備の促進・森林施業の省力化
- ・林業の機械化・大型化による生産コストの低減
- ・H22稼働予定の大型合板工場(中津川市)の整備等に伴う
利用区域内の主伐材のみならず間伐材等の利用促進
- ・林業振興に伴う新たな雇用確保



早期完成を強く要望

対応方針(案)

1. 森林整備促進の必要がある。
2. 地元から早期完成の要望が強い。



継続して事業を実施することが妥当

同意の香附閣

要望の早期完成

森林環境保全整備事業 森林管理道 灘見谷線の再評価



飛驒市

HIDA CITY

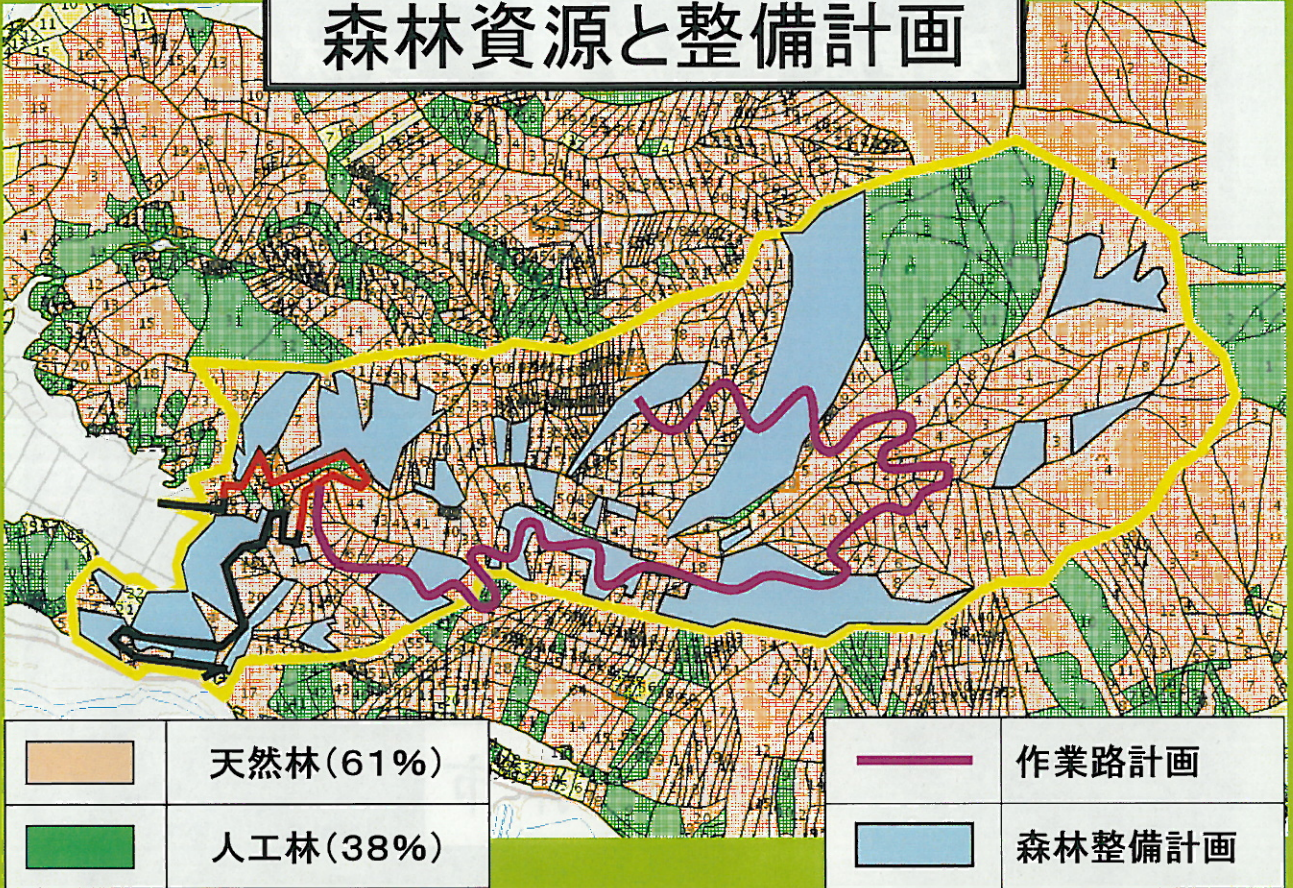
位置図

	実施済
	残計画

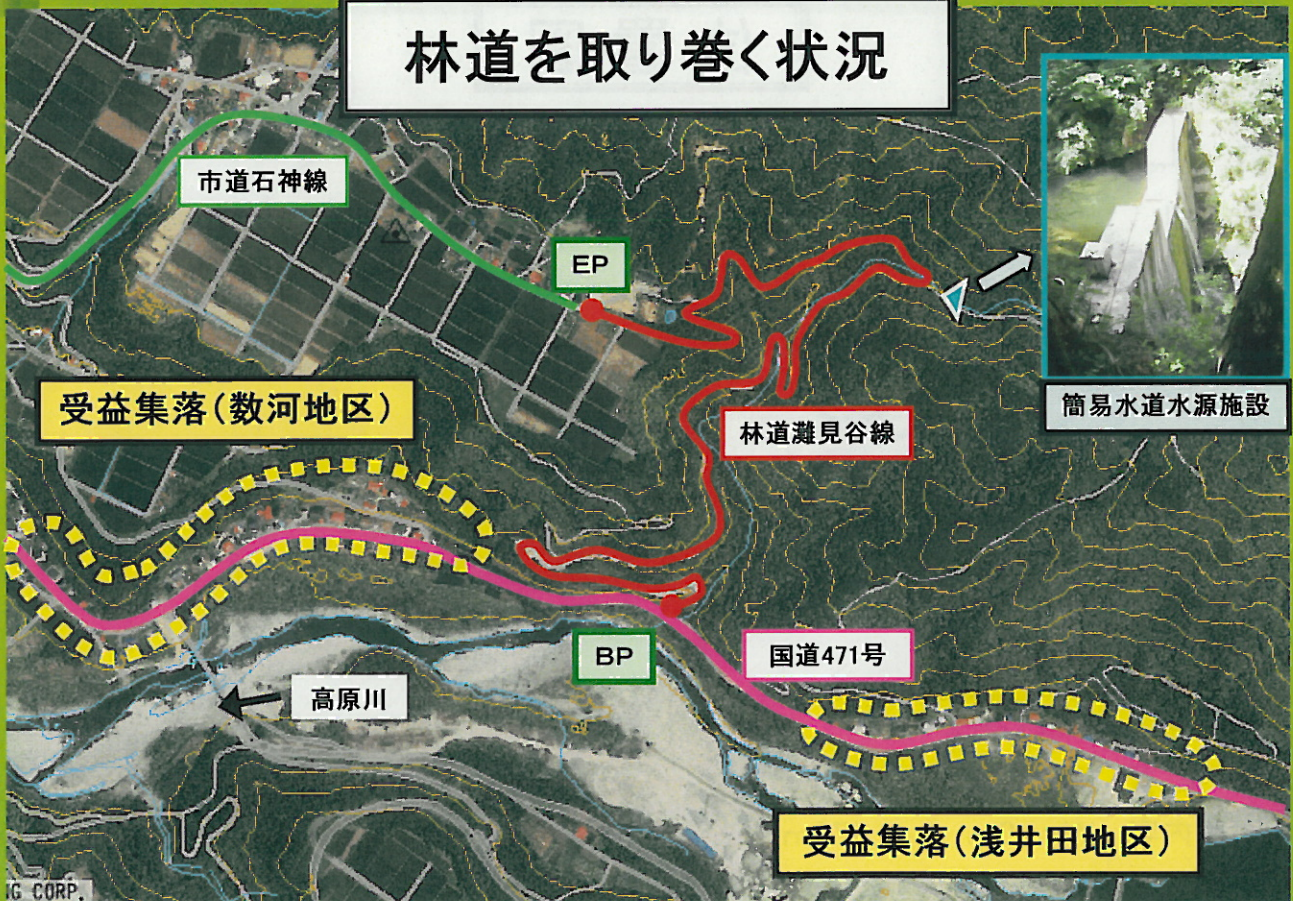


事業期間	平成12~24年度
事業費	460百万円
事業内容	W=4.0m L=2,170m
利用区域	178ha

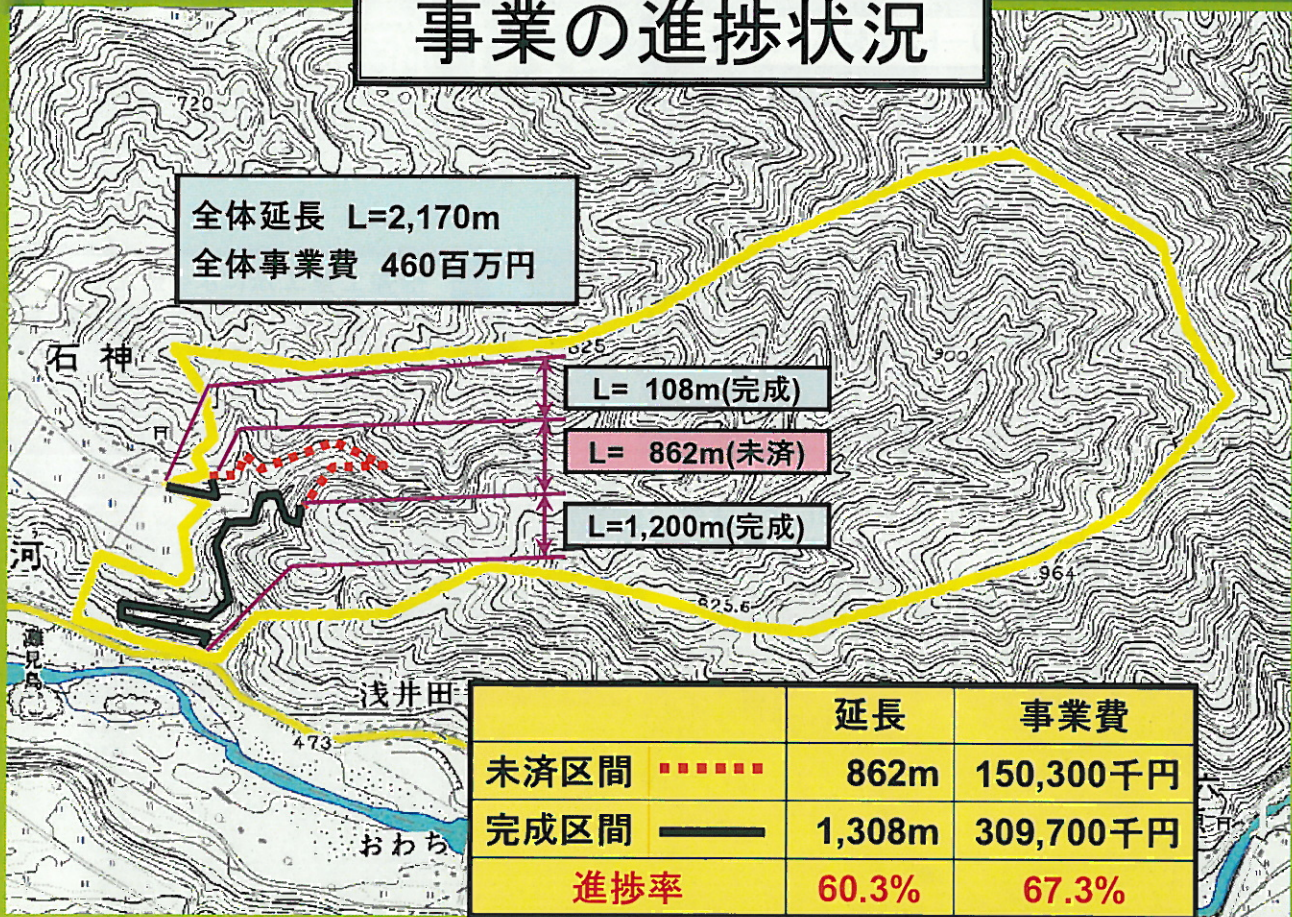
森林資源と整備計画



林道を取り巻く状況



事業の進捗状況



投資効果の分析

□事業の効果

- 木材生産等便益 26%
- 森林整備経費縮減等便益 74%

□投資的效果率

$$\text{効果額} / \text{事業費} = 1.1$$

コスト縮減の取組

コンクリート2次製品による施工



補強土壁工法による盛土状況



残土の工事間流用による活用



関係者の意向

地元区との座談会



- 地域の重要な水源林の適切な森林整備の促進
- 高性能林業機械や大型車輛等を活用した作業システムの活用による地域林業の振興



早期完成を強く希望

中間土場の出荷



林道沿いの間伐の状況



事業を巡る社会情勢の変化

低質材も含めた、新たな需要が拡大したが、
低コスト化が必須条件

- ・日本海側輸入材加工施設の国産材化
- ・製材加工施設の整備(高山市) ※H18
- ・大手合板工場の立地(中津川市) ※H22稼働予定

本事業により林道を開設



森林整備の促進、木材の安定供給の確保

対応方針(案)

- 開設により、一層の森林整備が見込まれる
- 地元関係者は事業の継続・早期完成を強く要望している



継続して事業を実施することが妥当

